EA 3463™ EPOXY PUTTY / ÉPOXY MASTIC /
エポキシパテ

警告

名称等を表示すべき有害物：ビスフェノール**A**型エポキシ樹脂; ガラス酸化物; 結晶質シリカ

変異原性が認められた既存化学物質：ビスフェノールA型エポキシ樹脂

危険有害性情報
皮膚刺激。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
強い眼刺激を起こす。
長期継続的影響により水生生物に毒性。

安全対策
粉じんの吸入を避けること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。

応急措置
皮膚に付着した場合は、多量の水と石けんで洗うこと。
眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合は、医師の診断・手当てを受けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受けること。
汚染された衣類は脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。
漏出物を回収すること。

廃棄
廃棄するときは、適用法令及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物／容器を廃棄すること。

REPAIR WRAP /
グラスファイバーテープ

危険

名称等を表示すべき有害物：4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート; ジフェニルメタン-2,4'-ジイソシアネート

危険有害性情報
皮膚刺激を起こす。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
強い眼刺激を起こす。
吸入すると有害。
吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ。
呼吸器への刺激のおそれ。
発がんのおそれの疑い。
長期にわたる、又は反復ばく露により臓器の障害のおそれ。

安全対策
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じんを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡及び保護面を着用すること。
換気が不十分な場合は呼吸用保護具を着用すること。

応急措置
皮膚に付着した場合は、多量の水と石けんで洗うこと。
吸入した場合は、新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合は、医師の診断・手当てを受けること。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合は、医師の診断・手当てを受けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受けること。
呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。
汚染された衣類は脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。

保管
換気の良い場所で保管し、容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。

廃棄
廃棄するときは、適用法令及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物／容器を廃棄すること。

KEEP OUT OF THE REACH OF CHILDREN. For Industrial Use Only. / 子供の手の届かないところに保管すること。業務用につき一般用途には使用しないこと。
Please Refer to Safety Data Sheet. / 使用前に安全データシート（SDS）を確認すること。

140-0002
東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲 14F　TEL: 045-758-1800

®, ™, © 2024 Henkel and its affiliates.
Made in the U.S.A. / https://next.henkel-adhesives.com/us/en.html

LOCTITE®

PC 5070™
パイプリペアキット PRO 4”

漏れながら
補修可能！

LOCTITE® パイプリペアキット PROは
圧力のかかっている金属、プラスチックやコンポジット(複合)素材の配管、継手、
カップリングなどの亀裂、ピンホール、ねじ部の補修をするためのキットです。

PC 5070 PROによる漏れ補修の手順やコツを→のQRコードから確認することができます。

ねじ込み継手の漏れ補修ガイド

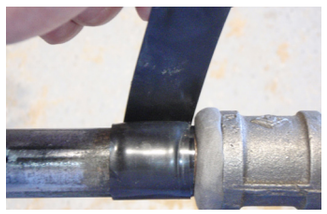
穴開き部の漏れ補修ガイド

特徴と利点
- ➢加圧時は0.4MPaまで補修が可能
- ➢ライン停止不要
- ➢特別な資格や火気作業不要
- ➢素早い施工時間：標準作業時間 40分
- ➢施工時温度：10~30℃
- ➢耐熱温度：-45~121℃
- ➢完全硬化後は約2MPaまでの耐圧性

主な使用例
各種形状の配管（エルボー、T字、レデューサー等）、継手、ねじ部、カップリング等

材質：金属、プラスチック、コンポジット(複合)素材等

内部流体：エアー、冷却水、化学薬品等



☐ **製品番号：2985100**
キット重量267g　補修可能な最大配管外径 100mm

0 79340 01825 9

LOCTITE® パイプリペアキット PRO
キット内容：

- 作業手順書
- サンドペーパー
- アルコールワイプ
- 保護手袋
- LOCTITE® EA 3463 IN エポキシパテ
- ブチルパッチ
- シーリングテープ(黒ゴムテープ)
- グラスファイバーテープ
- 仕上げラップ

使用方法：製品をあける前によくお読みください。

注意事項：

- このキットは、直径**3.2mm**までの穴を補修する仕様です。このキットにて補修可能な最大配管径については表紙をご覧下さい。
- 補修は10~30℃の間にて行ってください。硬化後は-45～120℃の温度範囲で使用して下さい。
- 本製品は純酸素又は高濃度の酸素システムでの使用は避けて下さい。また、塩素や他の強酸化剤物質のシール剤として決して使用しないで下さい。
- 蒸気が発生する箇所への使用は避けて下さい。

1. 事前準備: 補修には、約**1L**の水とワイヤーブラシが必要です。
漏れ箇所の検出を行い、ライン圧力を0.4MPa以下に下げます。付属の手袋を着用し、ワイヤーブラシと付属の布やすりを使用して配管表面を粗し、錆や汚れを取り除きます。最大限の接着力を得るためには、損傷箇所の3~4倍を補修する必要がなります。黒ゴム製のシーリングテープから最初の15cmを広げ、離型フィルムをはがし端へ固定します。

2. エポキシパテの塗布: EA 3463 INの包装をはがし、
色が均一になるまでこねて混合します。混合時間の目安は3分です。
最低使用温度は10℃です。用途に応じて以下の手順を行います。

継手の場合: 混合したEA 3463 INを3~6mmの紐上に成型し雌ねじの端部を超えないように継手の全周に巻き付け、ブチルパッチをEA3463 INの上に被せて損傷個所の上に押し付けるように貼り付けます。

ピンホール/亀裂の場合: ピンホール/亀裂を埋めるために損傷個所より大きめになるように混合したEA 3463 INを球状にし設置し、ブチルパッチをEA3463 INの上に被せて損傷個所の上に押し付けるように貼り付けます。

3. シーリングテープの巻き付け: シーリングテープの粘着面をEA 3463 INあるいはブチルパッチの横の配管に貼り付けます。

同じ部分に2層重ね巻きし、シーリングテープを配管に固定します。シーリングテープを引張りながら配管へ設置したパテの方向に巻き付けていき、シーリングテープにてパテを配管の損傷部分へ押し付けるように巻いていきます。
残りのシーリングテープを損傷部分へ直接パテの上に重ねて押し付けるように最後まで巻きつけます。

4. ファイバー巻き付け：アルミ袋を開け、水を入れたバケツの中に

グラスファイバーテープ を約10秒間水に浸し、樹脂の反応を促進させます。グラスファイバーテープ は補修箇所へ8層重ね巻きし、ブチルパッチの両側5cm以上へ巻き付けます。8層にするには時計回りで補修箇所にシートの半分を重ね合わせて4回重ね巻きします。巻き付け完了後に水を施工部全体にかけ、締め付け方向に絞り込むようにして密着させます。

ワンポイント：特殊な形状に巻き付ける場合は、グラスファイバーテープを時々ひねりながら塗布すると、配管にしっかりと密着します。

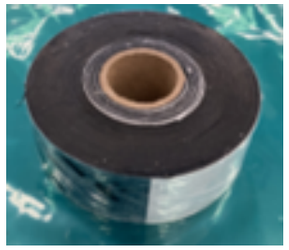
5. 補修部分の保護：巻き付けたグラスファイバーテープ 全体に
仕上げラップを4層巻き付けます。
ワイヤーブラシで施工面を軽くたたいて仕上げラップに穴をあけ、反応ガスを逃がします。約10分後に仕上げラップを剥がします。

・サンドペーパー

・ブチルパッチ

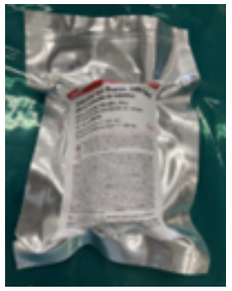
・アルコールワイプ

・シーリングテープ
(黒ゴムテープ)



・保護手袋

・グラスファイバーテープ



・LOCTITE® EA 3463 IN エポキシパテ

・仕上げラップ